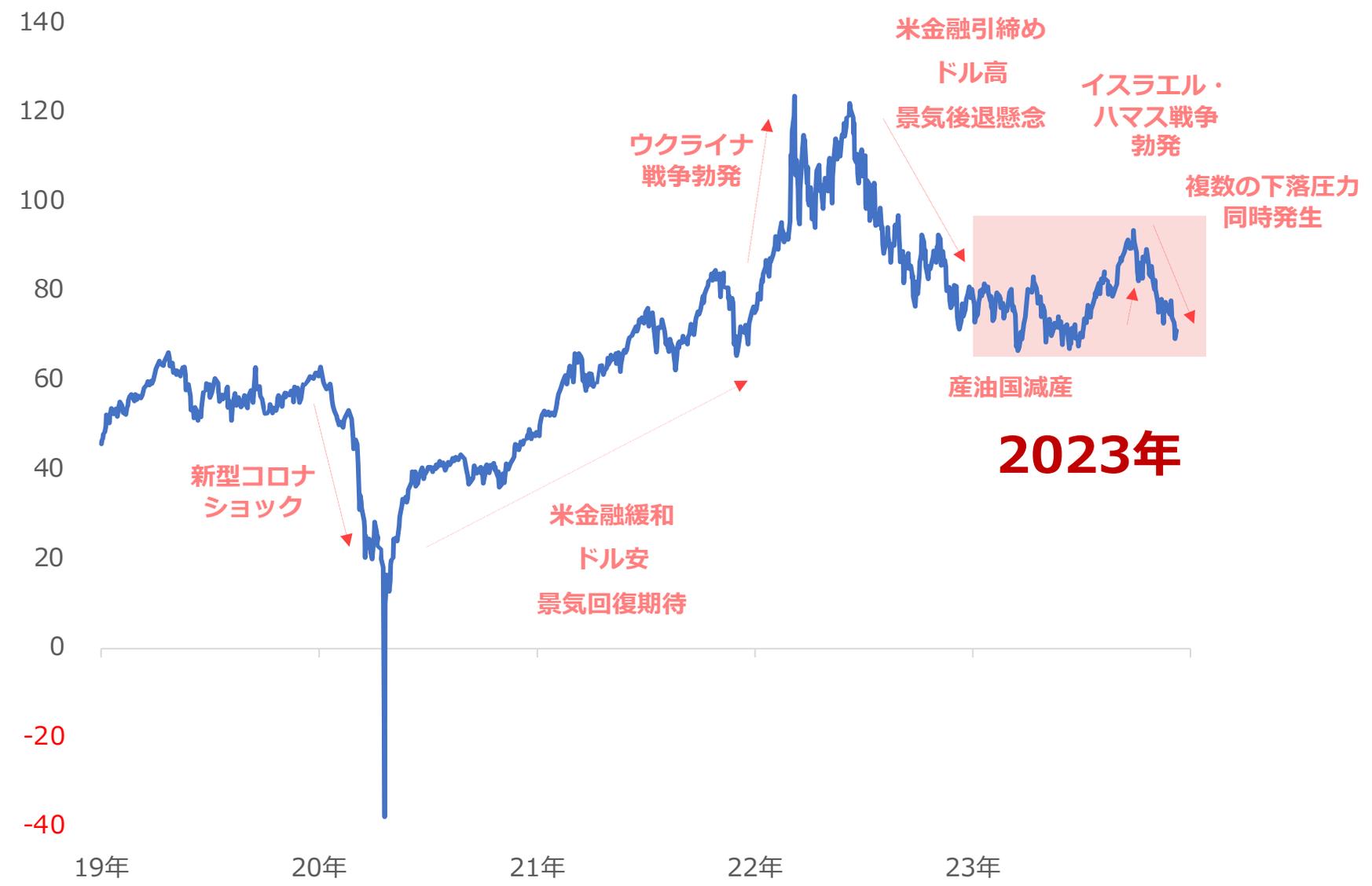


● NY原油先物（日足 終値） 単位：ドル/バレル



出所：Investing.comのデータより筆者作成

2023年の原油相場は長期視点で「高止まり」だった。

● 原油市場を取り巻く環境

短
中
期

(1) 産油国の動向

主要生産国の生産動向・思惑

(2) 需要動向

世界の需要動向・見通し

長
期
・
超
長
期

(3) 気候変動

気候変動起因の実際の需要増減
(思惑除く)

(4) 省エネ技術

自動車や発電所などの技術向上

(5) ドル円の変動

← 円建て原油の場合

出所：筆者作成

材料を時間軸ごとに分けることが必要。（「環境問題」「省エネ」は長期視点）

● 2023年に目立った動向と2024年の予想

2023年

2024年（予想）

(1) 産油国の動向

- ・ 中東情勢悪化
- ・ ウクライナ情勢継続

西側・非西側
分断深化
(非西側産油国の態度硬化)

減産という名の
「出し渋り」続く

- ・ 米国の石油開発停滞

脱炭素の
ジレンマ拡大

- 脱炭素推進継続の場合は生産停滞が継続
- 大統領選（11月）で石油寄りの政権が誕生した場合供給・需要 拡大観測浮上

(2) 需要動向

- ・ 欧米 金融引締め一巡
- ・ 中国景気減速懸念

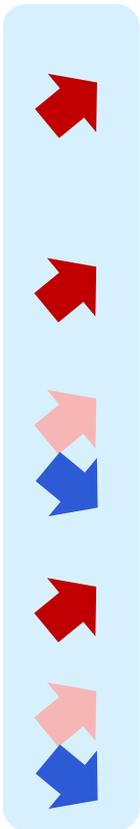
緩和タイミング
模索

景気回復とドル安
二つの価格上昇圧力発生

政治・経済
両面で懸念浮上

- 楽観論→価格上昇圧力
- 悲観論→価格下落圧力

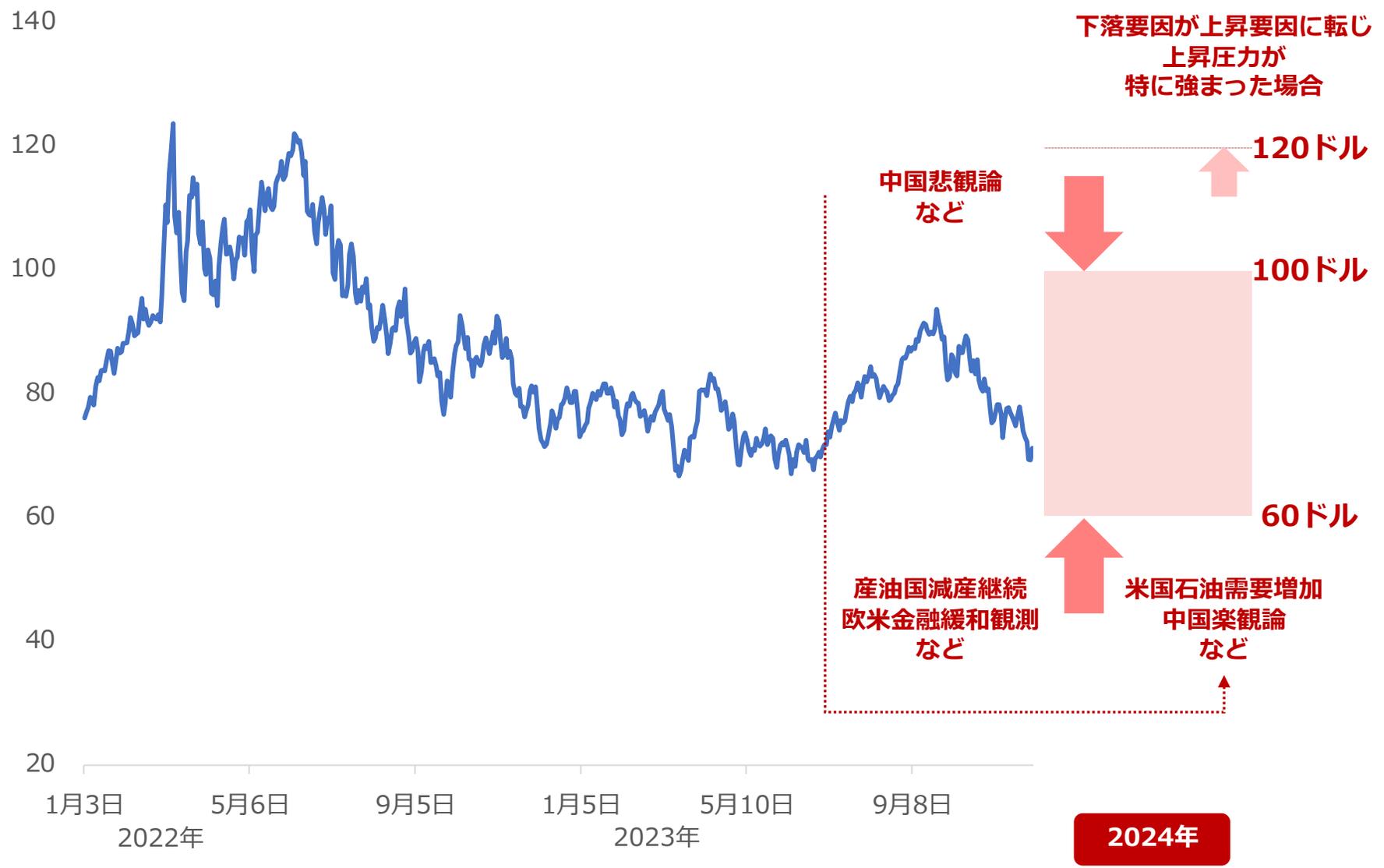
原油相場
への影響



出所：筆者作成

2024年のポイントは、2023年に発生・強まったテーマがどう変化するか。

● 2024年原油相場見通し（23年12月11日時点） 単位：ドル/バレル



出所：Investing.comのデータより筆者作成

2024年はどちらかと言えば、上昇方向で推移すると考える。

● 主要減産実施国の財政均衡に必要な原油価格 単位：ドル/バレル

	2023年 (IMFの予想)	2024年 (IMFの予想)
イラク	97.7	97.9
カザフスタン	94.4	99.2
サウジアラビア	85.8	79.7
アゼルバイジャン	79.7	88.4
リビア	68.2	64.3
クウェート	64.8	63.8
UAE	56.0	58.3
オマーン	54.3	54.8

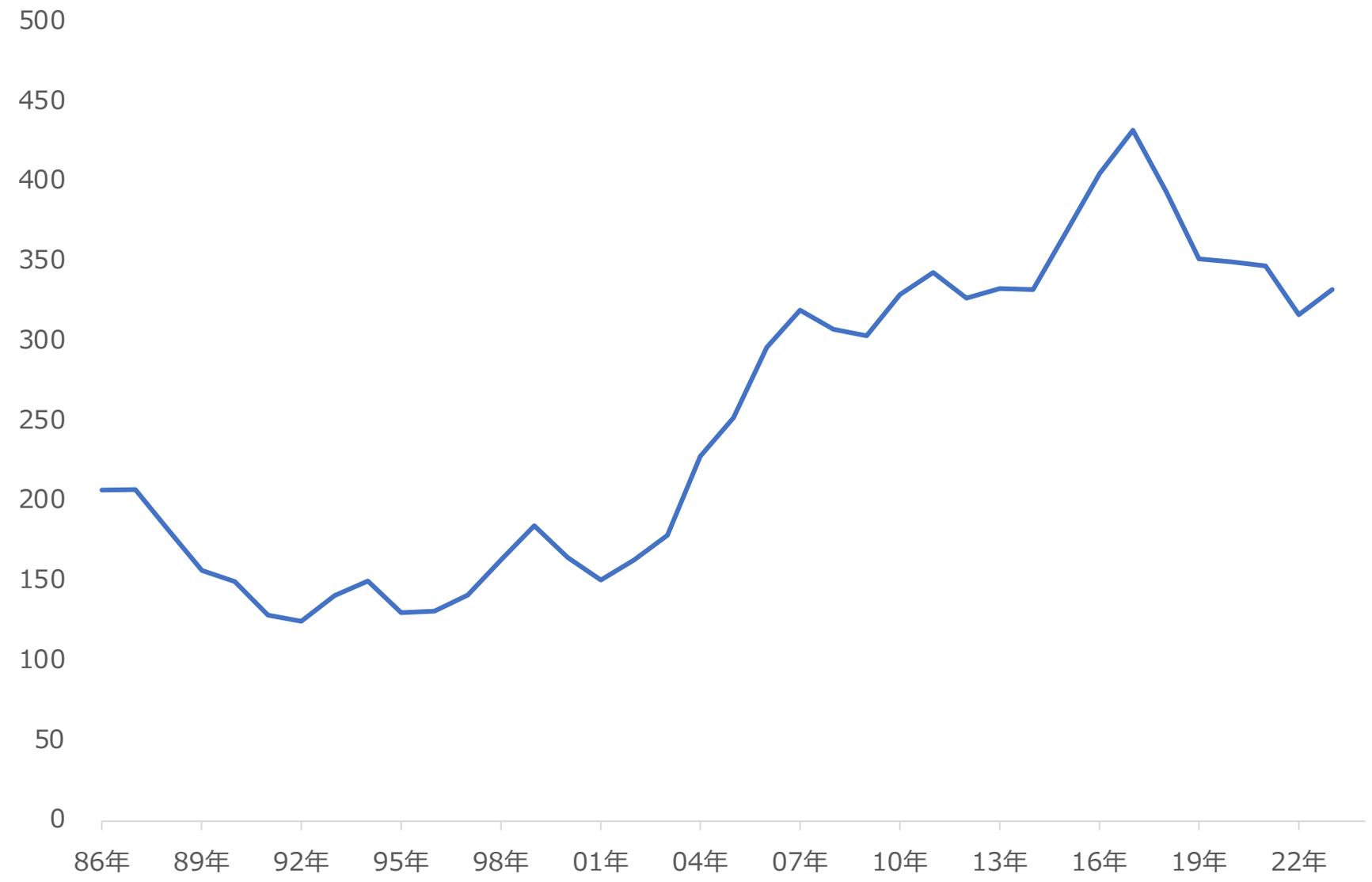
平均 約71ドル

平均 約72ドル

出所：IMF（国際通貨基金）のデータをもとに筆者作成

70ドルを割れてくると、OPECプラスは減産強化の意欲がわく。

● NY原油先物市場における取引参加者の数



出所：CFTCのデータより筆者作成

参加者数の増加は意見の増加。思惑の交錯が大きくなり価格変動も複雑化する。